



観光の拠点となる西平畑公園

内訳である。

観光・経済

【質】 ズビエ処理加工施設は、10月から稼働とのこと。その運営内容と委託料の詳細は。

【答】 (観光経済課)

鹿や猪を解体して食肉として利用する施設なので、猟に携わる団体に運営を委託する。

委託料は300万円程度で、光熱水費・残渣の処理費・管理人経費などが

【質】 松田山活性化事業として協議会を立ち上げるよつだが、西平畑公園も含めて利活用の検討をするのか。

【答】 (観光経済課)

松田山が抱えている

様々な課題に対して、西平畑が観光の拠点としての機能を有しているのので、そこから松田山の中でいろいろと結びつきができるなど、今後の方向性を検討するための協議会となる。

【質】 新規事業として森林経営管理意向調査委託料として、333万3千円が計上されているがどのような事業なのか。

【答】 (観光経済課)

森林環境譲与税が創設され森林保全の強化が求められている。今後の町の森林施策を決めるにあたり状況の把握も含めてアンケート、意向調査などを実施するための予算。

【質】 増え続ける耕作放棄地の防止と、食料自給率を上げるため、松田町の農業従事者に更なる厚い補助の考えは。

【答】 (町長)

農地の保全ということが重要であると考えてい

る。農業委員会とも連携し、松田町に見合った特産品の開発と耕作放棄地の減少を図っていく。

教育

【質】 松田中学校警備員が令和4年度をもって廃止されたが、今後の対策は。

【答】 (教育課)

令和4年度までは2名体制で行っていたが、令和5年度については、新たな方法を考えていく。

【質】 英語教育推進事業の外国語指導助手派遣支援委託料660万円の内訳は。

【答】 (教育課)

マネジメント業務に97万3千円、研修など技術向上に114万7千円、英語検定が115万2千円、交流事業関連業務が36万7千円、イングリシユカフェ等のイベント業務が55万6千円、240万5千円が諸経費。

議案第13号 令和5年度松田町一般会計予算

一般会計予算審査特別委員会報告書 (抜粋)

1. 審査の結果

採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2. 審査の内容

歳入は一括、歳出については各款ごとに審査しました。

予算額は、昨年度と比較し、松田小学校整備事業が完了したため減少している。その中において、未来を見据えたハード・ソフト事業が盛り込まれており、健全で持続可能な予算編成となっている。

なお、予算執行にあたっては次の事項について申し入れをします。

- (1) 町税が減少傾向にあるため、ふるさと応援寄附金の増収や人口減少対策などに取り組み、財源の確保に努められたい。
- (2) 新モビリティサービス推進事業は、高齢社会での交通対策として期待される事業であり、公共交通事業者との調整を十分に図り執行されたい。
- (3) 県内初となる広域で設置した「あしがらズビエ工房」の管理運営を軌道に乗せ、ズビエの精肉販売事業を展開されたい。
- (4) 国・県補助金等を財源に森林の保全整備事業を積極的に推進されたい。